

縄跳びの練習



長縄や

子ども

児童の笑みが

哲人

飛び跳ねる

大縄跳びの大会に向けて子どもたちは練習に余念がない。休み時間などに校庭に出て児童の安全管理をしていると、一年生がやってくる。「あの なわを回してくれないませんか」と大縄を回してほしいと訴えてくる。

回しだすと、次々と走りこんで飛び跳ねる。大縄跳びが得意な子も苦手な子も記録を出すために心を一つに練習する。励まし合って助け合って日に日に上達している。みんな頑張れと思わず言いたくなる。

【港子記す】